

—あなたと議会のホットライン—

しべつ

議会だより



「北方四島在住ロシア人ファミリー訪問団来町」

6月17日から20日の間、ロシア人親子18名が
当町を訪れ、住民交流をしました。

(写真は川北地区交流会での様子)

6月定例会

第115号

平成17年7月1日

行政報告 地熱開発促進調査決定…………… 3

一般質問 延長・緊急保育の充実を… 4～5

委員会の動き 委員構成新たに…………… 6

平成17年 第2回定例議会

6月7日に招集された、第2回定例会は、会期を1日とし、補正予算1件、条例関係1件、意見書2件等が上程され、審議の結果いずれも原案どおり可決されました。

また、一般質問は2議員が行ない、小田桐町長最後の議会となりました。

※補正予算の状況 (単位：千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の総額
一 般 会 計	9,837	5,338,137

補正予算

〈一般会計〉

○一般管理費

32・7万円

※恵盟寮管理人賃金

○企画振興費

288・8万円

※地熱開発促進調査事業費

○排水管理費

406・4万円

※標津西五条排水路転落防止柵設置費

○学校管理費

125・4万円

※薫別小中・古多糠小中学校屋根補修費

○幼稚園費

130・4万円

※パート職員賃金

130・4万円

条例案件

標準町名誉町民条例の一部を改正する条例制定

※年額五十万円支給の年金を廃止するもの。

報 告

十六年度一般会計繰越

明許費計算書

※道営草地整備改良事業

及び道営中山間地域総合整備事業

1,138・8万円



第二回臨時議会

(五月十三日)

補正予算

〈一般会計〉

○農業振興費

1億4,350万円

※育成舎建設補助金

○都市計画総務費

80万円

※標準市街拡大計画業務委託料

608・8万円

〈老人保健特別会計〉

※十六年度精算による償還金等

条例案件

町税条例の一部を改正する条例制定

※国の法律改正によるもの

(所得税、住民税、不動産登記法等)

任期 平成十七年六月一日から平成二十年五月三十一日

人事案件

固定資産評価審査委員

議員アウカルト

議員は住民から選ばれ、その代表者として人格・識見とも優れたものといわれている。だから議員の一言一句は住民の意見であり、声である。しかし現実になされている議員活動は住民が求める要望等と必ず一致することは容易ではない場面が少なくない。

議員という立場でどのように判断するのか。それには二つの側面があるという。一つは全体の代表者であり、奉

に選任同意する。

住所 標準町字川北一

氏名 西田 正夫

生年月日 昭和二十二年十一月八日

任期 平成十七年六月一日から平成二十年五月三十一日

日

平成十七年六月一日から平成二十年五月三十一日

仕者であるという判断(一般的意志)。二つ目は自らの選挙母体となった地区や組織の立場に立った判断(分化的意志)。この二つが合致した時は問題がないが、それが相反し、矛盾する時、大きな葛藤が生じる。

今日の地域社会は、激動する経済社会情勢の中で、日々進展し、変革しているから、常に住民の中に飛び込み、対話を重ね、時々住民に訴え、指導することが大事である。

行政報告



小田桐町長

◆「妹羅山地域」の地熱 開発促進調査決定

この「妹羅山地域」の地熱開発促進調査については、去る四月二十日に開催された両常任委員会に対し、これまでの経過及び今後の見込み等を説明したところでありますが、この度NEDOから五月三十一日の理事会で正式にC調査の決定がなされた旨の報告がありました。

決定内容は、調査目的、期間、方法、事業費などに既に報告した内容と概ね同じであり、このことから町としては、今後、調査に係る検討委員会の運営及び許可事務を担当するとともに、この調査結果に基づき

地熱エネルギーの利用を検討しなければなりません。これについては、二年間の調査が終了した段階で環境への負荷や地熱資源量、また設備投資後の採算性、持続性などを十分見極めた中で、適切に対処されるものと考えております。

なお、調査が本年度から始まることからこの調査に係る本町の事務担当分の予算を本定例会に提案しておりますので、ご審議の程をよろしくお願い申し上げます。行政報告を終わります。

(NEDO…新エネルギー・産業技術総合開発機構の略称 新エネルギーおよび省エネルギー技術などの開発をおこなう経済産業省所管の独立行政法人)



◆小田桐町長の退任あいさつ

皆様におかれましては、五期二十年間の任期中、公私ともに特段のご厚誼をい

ただくとともに町政の推進に格別なるご支援・ご協力をいただきましたことに衷心よりお礼申し上げます。

顧みますと任中の世相は、就任当初のバブル最盛期に始まり、激動と言われた世紀を跨いで、誰もが明るい希望を抱いて迎えたはずの新世紀は、地方自治体が否応なしに再編統合の危機に曝される自治体受難時代へと加速して参りました。

その間、本町におきましては、「健康と福祉の村」構想に基づく保健・医療・福祉施設の建設を始め、産業生産基盤、教育施設、防災設備などの整備に大きな進捗を見るときに、本町の存亡を揺るがした合併問題も住民の総意をもって最良の判断が示されるなど、時代の荒波に翻弄されながらも円滑な町政の推進に努めることができましたのも偏に皆様方のご支援・ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

いま本町は、非常に厳しい自立の道を選択し、未知なる試練への第一歩を歩みだしておりますが、幸いにして町民の皆さんは、向後に愛いなくこの難局と標津町の未来を託すに相応しい新しい時代のリーダーを選出されました。

町民の皆様の良識ある判断に深く敬意を表しますとともに新町長のもとで行政、議会、住民が一致団結して「萌える海と大地 さわやか交流郷 標津町」の建設に邁進されることを強く望んで止まない次第であります。

任期も残すところ少なくなつて参りましたが、今まで寄せられましたご支援・ご協力に重ねて御礼申し上げますとともに退任後は、一町民として標津町に骨を埋め、微力ながらも町の発展に尽くしてまいるのでありますので、皆様におかれましては旧に倍するご厚誼・ご厚情を賜らんとをお願い申し上げます。退任に当たつての御礼とさせていただきます。

意見書

温暖化ガス吸収源としての森林機能対策充実に関する意見書

国産材の需要を拡大して温暖化ガス吸収源として重要な森林機能を高める必要があります。「緑の自給圏」を確保するための政策を国・道に求める。

義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書

義務教育は未来社会への先行投資という重要な役割を担うもので、「国による最低保障制度」である義務教育国庫負担法の主旨を堅持するよう求める。

一般質問 Q & A

2人の議員が11項目にわたり町長に質問を行いました。



小川 悠治 議員

◆「次世代育成支援対策推進法」の町の行動計画について

Q 十七年度から十年間集中的・計画的な取り組みが義務化されたが、町の支援行動計画を伺いたい。

A 保護者が子育ての第一義的責任との基本認識のもと、町等に出産や子育てに関するさまざまな負担や障壁を軽減するため、具体的な施策を計画的に推進するよう求めている。

A 国が行動計画策定指針を示し、十七年四月からの実施を求めている。町は「標津町次世代育成支援行動計画」を策定した。

Q 次世代育成は今後の重要課題

延長・緊急保育の充実を!! 潜在保育士の活用を!!

である。

A 法は非常に大切な目標を定め

◆「計画策定の基本的視点」について

Q ①子供の視点 ②次代の親作りの視点③利用者の視点④社会全体の支援⑤すべての家庭と子供の視点⑥地域の社会資源の効果的活用の視点⑦サービスの質の視点⑧地域特性の視点についてどのように対応されたか。

A 八項目の基本視点を立って、当面は町づくり計画に代わる「過疎計画」を始めとする子育て支援と関連して取り組んでいる。事業の目的や現状を整理しながら、主にソフト

事業の充実強化に主眼を置いた。

◆ニーズ調査について

Q ニーズ(要望)調査の方法、特に幼稚園や保育所に通っていない児童世帯の調査について。

◆子育てと仕事が両立できる支援を

A 子供のいる世帯、いない世帯ともに「子育てしながら働きやすい環境整備」が最も求められている。当面の施策として、支援の充実を推進して欲しい。

A 十五年度から、就学前の児童や小学生の保護者に対しニーズ調査を実施。乳幼児検診時や児童館や母子通園センター父母の会からも意見を頂いている。

Q 今回の「行動計画」は町の基本理念で、具体的次世代法施策は新町長に引き継がれて提示されると認識しています。施策初年度にあたり当面の検討事項として次のことを要望しておきたい。

◆延長保育・緊急保育および一、二歳保育の定員増加について

●入園児童のうち半数が午後五時半までの延長保



双葉保育園、一歳児保育

育を利用しており、保育時間帯について検討願いたい。

●全体の定員には余裕があるが、一、二歳児は定員満員状態が続いており、保護者の病気・ケガなど緊急保育に支障が出ないようお願いしたい。

◆潜在保育士の活用 地域の社会資源の効果的活用でニーズに応えてほしい。

◆行動計画が形式的お題目にならないように

国や道が補助金削減などで後退している中、財源問題で行動計画が形式的に終わらないよう具体的施策の実行を要望する。

A 法の目的は、

育成しようとする家庭の支援が主たる目的でもある。現在の制度を目標に向かってどう充実させるかということに尽きる。目標をもって毎年の行政の運営に充分な配慮をする努力はこれからも怠りなくする。



小川 祐 司 議員

自立再生への道!!

タブ山周辺の活性化について!!

◆タブ山周辺の活性化について



通称タブ山といわれている所

は「チャシ」の跡といわれており歴史的資源として価値のあるものといわれています。

その活動年代の年代的経過と当時の食生活と特筆される活動等があれば教えていただきたい。



チャシ(砦跡)が五基集中している

点や規模の面から道内有数のチャシ跡として国内的にも貴重な史蹟であるといわれています。方形の濠、二重の濠、連結濠の特徴より最終使用年代は十七世紀〜十八世紀頃と考えられる。タブ山は発掘されていませんので詳細は不明ですが、一説によるとタブ山チ

ヤシは国後、目梨の戦いに使われたといわれております。



通称「しのへの山」からの景色は素晴らしいといわれています。

今の国道からは山の反対側なので眺めは見られませんが昔を知る人の話では景勝を誇る地であるとのこと。タブ山の歴史的観光資源の要素と相まって活性化の一要因となると考えますが如何でしょうか。



この区域は野付半島の根元に位置し、高台から茶志骨川

河口、野付湾一帯はもとより知床や根室海峡までの雄大な景観が展望出来る。ほかに多様な野鳥の観察が可能な地域であり、新たに保健保安林の指定を受け散策

による森林浴などの森林レクリエーションの場として道民に役立てたいと考えているが、中標津町夢の森公園との関連で現況に至っております。



茶志骨川の河口を更に検証してみても河口の重要性そして中流域、上流域には貴重な特性のあることが分かりました。中流域には十分な

葦原を蛇行する流れ、上流域には蜚の幼虫の生息する貴重な場所「五十年前の川づくりをめざす」我々には大きな希望を与えてくれます。自然との共栄、共存そして保全を願う当町にとっては貴重な地域になると思います。



葦原やアヤメなどの水辺の植物が形成され野鳥、水鳥が

餌をついばむ湿地が広がる河口域を持つ川は茶志骨川と幌川の二河川であります。

河口域の先には海のユリカゴといわれ北海シマエビを代表とする多様な魚貝類の餌となり小魚のかくれ場になるアマ藻の藻葉が茂っており、この自然形態が水鳥の貴重な繁殖地がラムサール条約の対象となっております。

◆名称に「知床」を



羅臼観光協会が知床羅臼観光

協会と名乗った報道がされていきました。

未来に向かって知床をどう守っていくか。この観点より標津町、羅臼町、斜里町の三町が知床の冠を必要に応じて使っていくことが大切と考えます。現段階で

冠付けが必要と思われるものは「知床金山スキー場」、「知床標津観光協会」等があげられがどうか。



世界遺産の決定がほぼ大丈夫

との報道に特に隣接の町として大変嬉しく思います。登録が実現するということは未来に向かって遺産を保護するという義務を負うことであり、今後も自然保護活動は確実に進めなければなりません。「知床……」の冠の問題については、今後の検討課題とさせていただきます。



委員会構成が新たになりました。

去る、五月十三日の臨時議会において、任期の後半にあたる委員会の構成が新たに決まりました。常任委員会と議会運営委員会は一年任期で議長・副議長・監査委員は四年任期、特別委員会は調査・審査が終了した時点で任務を終えます。

議会運営委員会



副議長
片岡 博司



議長
荒谷 良治

委員長 竹野 武美
副委員長 吉田 浩一
委員 片岡 博司
委員 高橋 幹雄
委員 大園 博元

議会選出監査委員

田中 孝幸

総務産業常任委員会



委員長
大園 博元



副委員長
千葉 元



委員
吉田 浩一



委員
木下 孝



委員
石橋 昌幸



委員
安達 護

文教福祉常任委員会



委員
鈴木 誠



委員
小川 悠治



委員長
高橋 幹雄



副委員長
小川 祐司



委員
片岡 博司



委員
藤本 満

広報特別委員会



委員
竹野 武美



委員
田中 孝幸



委員
藤巻 国治

委員長 吉田 浩一
副委員長 小川 祐司
委員 藤巻 国治
委員 小川 悠治

議員定数調査特別委員会

委員長 大園 博元
副委員長 木下 孝
委員 高橋 幹雄
委員 小川 祐司

委員 石橋 昌幸
委員 小川 悠治

委員会の動き

本来、委員会の審査・調査は会期中とされていますが、必要を生じている事項について、議会の議決を経て、閉会中であっても審査・調査ができます。住民本位の議会活動に資するものです。

総務産業常任委員会

①町有財産（土地・建物）の貸与実態と有効利用に関して

②海岸浸食対策に関して

③産業環境・防災林に関して

④町営バス運行の利便性の向上対策に関して

⑤標津町に効果的な暗渠排水に関して

文教福祉常任委員会

①交通安全対策の実態と具体的な対策に関して

議会運営委員会

①議会の運営に関して
②議会活性対策に関して

議員の出欠状況

(平成16年度)

出席……○ 欠席……×

【定例会】 議員16人

年月日	氏名 議会名	小川 (悠)	鈴木	安達	藤巻	石橋	木下	千葉	小川 (祐)	吉田	田中	大園	竹野	高橋	藤本	片岡	荒谷
16. 6. 16	第2回定例会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16. 9. 9	第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16. 9. 10		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16. 12. 21	第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16. 12. 22		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
17. 3. 10	第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
17. 3. 11		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○
17. 3. 16		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【広報特別委員会】 委員4人

氏名 年月日	小川 (悠)	藤巻	小川 (祐)	吉田
16. 4. 13	○	○	○	○
16. 4. 20	×	○	○	○
16. 6. 16	○	○	○	○
16. 7. 9	○	○	○	○
16. 7. 21	○	○	○	○
16. 9. 10	○	○	○	○
16. 10. 8	○	○	○	○
16. 10. 18	○	○	○	○
16. 12. 21	○	○	○	○
17. 1. 13	○	○	○	○
17. 1. 20	○	○	○	○
17. 3. 15	○	○	○	○

【臨時会】 議員16人

年月日	氏名 議会名	小川 (悠)	鈴木	安達	藤巻	石橋	木下	千葉	小川 (祐)	吉田	田中	大園	竹野	高橋	藤本	片岡	荒谷
16. 4. 30	第4回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
16. 5. 31	第5回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
16. 7. 9	第6回臨時会	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
16. 10. 25	第7回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17. 2. 28	第1回臨時会	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【総務産業常任委員会】 委員8人

氏名 年月日	安達	小川 (悠)	鈴木	大園	藤本	高橋	千葉	吉田
16. 4. 30	○	○	○	○	×	○	○	○
16. 6. 10	○	○	○	×	○	○	×	○
16. 6. 18	○	○	○	×	×	○	×	○
16. 9. 2	○	○	○	○	○	○	○	○
16. 10. 25	○	○	○	×	×	○	○	○
16. 11. 16	○	○	○	○	○	○	○	○
16. 12. 8	○	○	○	○	○	○	○	○
17. 1. 26	○	×	○	○	○	○	○	○
17. 2. 8	○	○	○	○	○	○	○	○
17. 2. 21	○	○	○	×	○	○	○	○
17. 2. 28	○	○	○	○	×	○	○	○
17. 3. 30	○	×	○	○	×	○	○	○

【予算審査特別委員会】 委員15人(議長を除く)

氏名 年月日	小川 (悠)	鈴木	安達	藤巻	石橋	木下	千葉	田中	大園	竹野	高橋	藤本	片岡	小川 (祐)	吉田
17. 3. 11	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○
17. 3. 14	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○
17. 3. 15	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○

【市町村合併調査特別委員会】 委員15人(議長を除く)

氏名 年月日	小川 (悠)	鈴木	安達	藤巻	石橋	千葉	小川 (祐)	吉田	田中	大園	竹野	藤本	片岡	木下	高橋
16. 4. 19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16. 6. 16	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○

【決算審査特別委員会】 委員7人

氏名 年月日	小川 (悠)	藤巻	木下	竹野	藤本	千葉	吉田
16. 10. 27	×	○	○	○	×	○	○
16. 10. 28	○	○	○	○	○	○	○
16. 10. 29	×	○	○	○	×	○	○
16. 11. 2	○	○	○	○	○	○	○

【文教福祉常任委員会】 委員7人

氏名 年月日	藤巻	石橋	木下	片岡	田中	小川 (祐)	竹野
16. 6. 10	○	○	○	○	○	○	○
16. 6. 21	○	○	○	○	○	○	○
16. 7. 7	○	○	○	○	○	○	○
16. 8. 16	○	○	○	×	○	○	○
16. 9. 2	○	○	○	○	○	○	○
16. 11. 8	○	○	○	○	○	○	○
16. 12. 8	○	○	○	○	○	○	○
17. 2. 21	○	○	×	○	○	×	○

【議会運営委員会】 委員5人

氏名 年月日	小川 (祐)	竹野	片岡	吉田	藤本
16. 6. 10	○	○	○	○	○
16. 6. 16	○	○	○	○	○
16. 9. 2	○	○	○	○	○
16. 12. 14	○	○	○	○	○
17. 3. 3	○	○	○	○	○

【議員定数調査特別委員会】 委員6人

氏名 年月日	小川 (悠)	石橋	小川 (祐)	高橋	木下	大園
17. 3. 10	○	○	○	○	○	○

議 会 日 誌

《3月》

- 10日 第1回標津町議会定例会(本会議)
- " 議員定数調査特別委員会
- 11日 第1回標津町議会定例会(本会議)
- " 予算審査特別委員会
- 14日 予算審査特別委員会
- 15日 予算審査特別委員会
- " 広報特別委員会
- 16日 第1回標津町議会定例会(本会議)
- 17日 根室管内グリーン・ツーリズムセミナー 中標津町
- 18日 北標津小中学校・ひまわり保育園 閉校閉園式 川 北
- 23日 標津町交流のまちづくり推進フォーラム
- 25日 ごみ処理施設建設工事起工式 別海町
- 26日 自由民主党北方領土研修会釧路会場要望懇談会 釧路市
- 27日 小池百合子北方対策担当大臣・町村信孝外務大臣との陳情及び懇談会 根室市
- 30日 総務産業常任委員会

《4月》

- 11日 広報特別委員会



- 18日 広報特別委員会
- 20日 総務産業常任委員会
- " 文教福祉常任委員会

《5月》

- 9日 根室支庁管内町村位階議長会定期総会 標津町
- " 道東4支庁管内町村議長会連絡協議会 中標津町
- 13日 第2回臨時会
- 15日 平成17年度標津消防団総合訓練大会 標津町
- 17日 北海道町村議会議員公務災害補償等組合臨時会 札幌市
- " 北海道町村議会議長会理事会 札幌市

- 20日 平成17年度根室地方森林・林業林産活性化推進議員連盟協議会総会 中標津町
- 23日 平成17年度牛魂祭 標津町
- 25日 標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会総会 標津町
- 28日 名誉町民小野幸三氏との懇談 札幌市
- 31日 議会運営委員会
- " 総務産業常任委員会
- " 文教福祉常任委員会

《6月》

- 1日 分権改革日本実現全国大会 東京都
- 3日 第13回根室管内町村議会議員パークゴルフ大会 標津町
- " 根室地域活性化構想推進協議会総会 根室市
- " 根室地方総合開発期成会総会 根室市
- " 地域高規格道路根室中標津道路整備促進期成会総会 根室市
- " 根室教育振興会総会 根室市
- " 根室教育研究所維持委員会 根室市

読者コーナー

読者から、記事の表現方法・誤字などについてご指摘がありました。ありがとうございます。

まず、読んでいただけて関心をもってくださいありがとうございます。感謝申し上げます。

早速、広報委員会を開き、内容を精査・検討し次の結果をみましたのでご報告致します。

【訂正事項】

議会だより第一一四号
ページの予算総額

（訂正前）

84億7,603円

（訂正後）

84億7,603万円

【表現方法】

①一般質問は会議録の作成が記事に間に合わないため、委員が録音テープを聞いて行っています。そして話されている事に忠実に記事にすることが求められる性質のもので会

議録と同様でなければなりません。一般質問は議員が住民に代わって行政全般にわたって執行者に所信や疑義をただすものです。質問があつて答弁となるものですので明確な区分けの必要性は感じております。

②「議員控室」の記事の中で「社会の中の人間として」の意図は、日本国憲法第三十条の国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負うという「社会を構成する一員としての責務」について記述したものです。

議会だよりのキャッチフレーズにあります「あなたと議会のホットライン」を築くために今後一層努力致しますので町民皆様のご愛読をお願い致します。

●御意見・御要望は議会事務局まで

TEL 82-2131
FAX 82-3011

編集室



誕生!!

新緑の候 六月!!まさに生命乱舞の時である。エゾセンニユウの声もますます透き通っている。フラビ、ウドたけなわ。カラス、アカゲラの赤ちゃんも間もなく誕生!!川には鮭の稚魚が海へ出るのを待っている。

“萌える海と大地 標津町”新町長誕生の時を待つ!! 小川 祐司

変動の時期、二十年間にわたり標津町の基盤を作り上げた小田桐町長に心から苦労様と感謝申し上げます。

新町長のもと、町民一人一人が、町のため、取りも直さず自分たちのために何が出来るとのか模索して実行に移し、町には潜在資源活用のための積極的支援をお願いしたい。 小川 悠治